



2022

学生の 授業 アンケートから 選んだ 「いい授業」



Tokai Univ. Teaching Award
Prize Winners List 2022



◆一緒につくろう! 『いい授業』◆

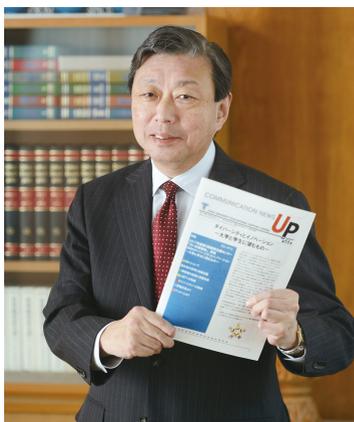
学生の皆さんへ

今回も学生の皆さんが選んだ「いい授業」の中から、授業を担当している先生方を表彰させていただきましたのでお知らせします。

昨年も新型コロナウイルスの影響によって、面接とオンラインを併用したハイブリッド型授業等が数多く実施されました。今回表彰を受けた先生方は、コロナ禍での授業のあり方を模索し、創意工夫を重ね、学生の皆さんから高評価をいただいた先生です。

先生方がいろいろと工夫して、わかりやすい授業を展開できるようになるためには、学生の皆さんにお答えいただく「授業についてのアンケート」が大切な役割を担っています。より良い学習環境の実現には互いの信頼が重要です。これからもアンケートの回答にご協力ください。皆さんと一緒により良い大学を創っていきましょう。

東海大学 学長 山田 清志



「4つの力」でいい授業をつくろう

やあ! 僕はリッキー! 東海大学の「4つの力」イメージキャラクターだよ!

2009年に東海大学が社会的な実践力を養うための具体的な教育目標(育成する力)としてこの「4つの力」を策定したんだ。

「4つの力」とは、「自ら考える力」「集い力」「挑み力」「成し遂げ力」の4つ。

自ら考える力

常に未来を見据え自らが取り組むべき課題を探索する力

集い力

多様な人々の力を結集する力

挑み力

困難かつ大きな課題に勇気をもって挑戦する力

成し遂げ力

失敗や挫折を乗り越えて目標を実現していく力

僕と一緒に「いい授業」をつくりましょう!!

東海大学の「4つの力」
イメージキャラクター リッキー



2022 \授業アンケートから/ 学生の選んだ「いい授業」

Tokai Univ. Teaching Award Prize Winners List 2022

◆ 優秀賞受賞者（2021年度選出）◆

観光学部 観光学科

ほんだ かずひさ
本田 量久 先生



医学部 医学科

ますだ りょうた
増田 良太 先生



スチューデントアープメントセンター
(高輪教養教育センター)

なべい りさ
銅井 理沙 先生



生物学部 海洋生物科学科

のさか ゆういち
野坂 裕一 先生



選考方法 東海大学では「授業力向上」のために、1993年度から学生による授業アンケートを行っています。1年間に開講された講義科目の授業を対象に、「授業についてのアンケート」の「総合評価平均評価点」、「科目履修人数」、「アンケート実施率」等の結果を考慮し、ユニバーシティビューローを中心に厳正なる審査を行います。

なお、2019年度までは授業時間内に所定のアンケート用紙に記入する方法(マークシート方式)で実施していましたが、2020年度より遠隔授業が行われたことに伴い、Web方式でのアンケートを実施しました。そのため、授業形態の区別は行っていません。

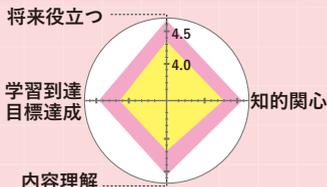
TA受賞者と全教員を比較

※2021年度実施結果

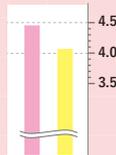
授業内容の工夫と進め方が違う



授業を通じて得られた満足度が違う



「4つの力」を意識できている



今回の総合評価は…

2021年度秋学期の平均(5点満点中)

4.28 (↑0.2※)

※2020年度秋学期の平均との比較

[全科目の推移(全教員)]





観光学部 観光学科

本田 量久 先生

Honda Kazuhisa

E-mail : kazuhisa-h@tokai-u.jp



【学 位】博士(社会学)
【専門分野】社会学理論、社会学史
【主要授業担当科目】
シティプロモーション論／観光とNPO・NGO／セミナー1～4

観光まちづくりの舞台裏を読み解く

日本各地で「住んでよし、訪れてよし」の観光まちづくりが展開されています。地域住民にとって住みやすく、多くの観光客が訪れるまちの条件は何でしょうか。インスタ映えする景色やグルメ情報をインターネットで拡散するだけでは、持続可能な地域活性化や観光振興は難しいです。経済活動の停滞や人口減少の進行をもたらす構造的要因を分析する一方で、地域内外で連携するネットワークを構築し、自然環境・文化・歴史・伝統といった地域資源を有効



に活用する戦略を検討することが重要です。授業では、さまざまな観光まちづくりの事例を紹介するとともに、理論的な説明を提示することで、学生がみずから分析する力を向上できるように努めています。

本田先生の『授業をよくするため』のテクニク



観光まちづくりの多様な事例を紹介するとともに、**理論的に説明**しています。まちが活発になる背後には一定の法則性が働いています。まちづくりの法則性が理解できれば、個別の事例を自分で分析できるようになります。



観光が可能になるためには、平和、人権保障、環境保護、QOLなどが重要な条件になります。**普遍的な課題**とともに**観光の現代的意義**を考える機会を提供することで、すべての学生が授業にコミットできるように努めています。



敢えて**理論的な説明**をします。理論という抽象的で難解な印象を与えるかもしれませんが、冗長な言い回しを回避し、シンプルな説明になるので聞きやすくなりますし、地域活性化や観光振興の複雑な過程を理解しやすくなります。

「いい授業」のために私はコレを活用

毎回の小レポート課題

授業の終わりに小レポート課題の提出を指示しています。理解度を確認するとともに、関心を知る機会になります。授業は教員と学生の共同作業という認識にもとづき、小レポート課題の論述を踏まえながら次回授業を展開しています。

学生VOICE!!



へらい あいな
戸来 藍那さん
観光学部 観光学科 3年次生

本田先生の講義は、さまざまな活動経験を交えてお話してくださるので、講義内容はもちろん、活動内容や活動地域にも興味湧き、新たな問題関心がまれる事が多いです。そのため、本田先生の講義を履修してから、幅広い分野で興味関心を持つようになり、授業外でも観光について考えたり触れたりする時間が多くなりました。授業外では、研究室に温かく迎えてくださり、普段の何気ない話でも話することができる親しみやすい先生です。

▶授業内容はTIPS(Tokai Information Portal Site)「シラバス参照」で確認!

本田先生の
2022年度の
授業

	科目名	必選	単位	開講校舎
春学期	シティプロモーション論	選	4	渋谷
	プレセミナー1	必	1	渋谷
	セミナー3	必	2	渋谷

	科目名	必選	単位	開講校舎
秋学期	観光とNPO・NGO	選	2	渋谷
	プレセミナー2	必	1	渋谷
	セミナー4	必	2	渋谷



医学部 医学科

増田 良太先生

Masuda Ryota

E-mail : masudar@is.icc.u-tokai.ac.jp



【学 位】博士(医学)
【専門分野】呼吸器外科学
【主要授業担当科目】臨床病態学1「縦隔疾患」/医学選択科目「呼吸器外科のABC」・「臓器・組織移植と人工臓器」/臨床診断学「症候と病態 胸水」/臨床診断学「診療技能 医療面接SP実習」/医学専門選択科目「呼吸器外科夏季臨床実習」

想起のお手伝い

なにも医学部医学科に限った話ではないようであるが、現在の学生には、記憶すべきことが多すぎるようで少々気の毒である。一問一答形式で答えられたとしても、一夜漬けて覚えたことは必ず時間とともに忘れてしまう。では、どのようにしたら記憶したことを長く保持できるのか? ①学生が点で持っている知識を一方向からのみ聞くのではなく多方向から聞いてあげること。②知識と知識を結び付ける現象を説明することで点の知識を線にしてあげること。③ただ覚えなければならないこともなぜ覚える必要があるのかという背景を説明すること。これらにより、必要なタイミングで思い出せるようなことが増え、ただの記憶力に頼ることが減ってくると信じている。その想起の手伝いをするのが教員の使命だと思います。



増田先生の『授業をよくするための』テクニク

わかりやすくする 解剖学や生理学など、既に学修を終えている授業でも、忘れてしまっている学生も多いです。「こまではもう知っている」ということを前提とせず、**ゼロから振り返り**ながら全員に分らせることを全ての授業で目標としています。

関心を持たせる 「いま教えていることを理解することで、国家試験の問題が解けるようになるんだよ」「逆に、このように問われるから、このように事を理解する必要があるんだよ」ということをいつも話しています。

聞き取りやすくする 早口でまくしたてないことです。基礎的なところには時間をかけます。その際に、「**分かった?**」と聞いて表情を確認します。分かってなさそうな学生がいれば、何度でも繰り返します。授業最初のほうのスライドに戻るときもあります。

「いい授業」のために私はコレを活用

①配布資料 ②マイク

①学生に配布するものと、授業で使うものは同じではありません。ところどころ、虫食いのように穴が開いていて自分たちで書き込んでいって完成させます。授業に集中させるためです。②理解度の確認に1問1答形式で答えさせます。

学生VOICE!!

ちよつき ゆい
一寸木 由依さん
医学部 医学科 3年次生

増田先生の講義は、重要な点が明確であり、国家試験とのつながりを交えて講義が進むため、重要だと認識しながら講義を受けることができました。またこの点は講義中に何度も繰り返してくれるため、講義中に頭に入れることができました。そして講義資料も、講義後に見返しても分かるような言葉で説明されているため、復習しやすいという点でも魅力的です。このように生徒目線で接してくれるため、集中して受講できました。



増田先生の
2022年度の
授業

▶授業内容はTIPS(Tokai Information Portal Site)「**シラバス参照**」で確認!

	科目名	必選	単位	開講校舎
通年	臨床病態学1「縦隔疾患」	必	2	伊勢原
	呼吸器外科のABC	選	2	伊勢原
	臨床診断学「症候と病態 胸水」	必	2	伊勢原

鍋井 理沙先生

Nabei Lisa

E-mail : lisanabei@tsc.u-tokai.ac.jp



【学 位】修士(教育学)
 【専門分野】第二言語習得 (SLA)
 【主要授業担当科目】
 アカデミック英語 / グローバルスキル /
 グローバルビジネス英語



学んだ知識を使える道具に

教員になる前は、金融関連の企業に10年ほど勤めていました。この経験から、将来、学生が実際に職場で英語を使う場面を想定した授業を心がけています。学校では、英語は問題を読み、聞かれたことに答え、テストで点を取ることが目的になってしまいますが、社会に出た後は、英語を使い目的を達成することが求められます。これに備えて、Science関連の記事や時事問題等について考え、自分の意見や解決法をWritingやディスカッション・プレゼンテーションでアウトプットする場を多く設けています。特に理系では英語に対する「苦手意識」が強い学生が多いのですが、とにかくアウトプットの場を多く持ち英語を書く・話すことに慣れてもらい、実際には英語は非常に役に立つ道具であることを実感して欲しいと考えています。



鍋井先生の『授業をよくするための』のテクニク

わかりやすくする
 英文法を「公式」のように「言語のルール」として説明しています。全てをきれいに公式化できるわけではありませんが、理系の学生が納得し理解しやすいように原則の「型」とその使い方を伝えています。

関心を高める
 英語と学生の生活をつなぐ「ピック」を取り上げます。時事問題や映画・YouTubeの動画も使い、身の回り学生が実際に使える表現を身に着けてもらいます。学んだ英語をバイトや留学生との交流で使い英語が通じる経験をする、より学習意欲も高まるからです。

聞き取りやすくする
 ゆっくりはっきり話すのが基本ですが学生が動画を「2倍速」で聞いていると聞き、自分で倍速で話したものも作りました。結果、特に英語の部分に関しては必ずに聞きとろうとしてくれた様だったのでこういった動画も有効かと感じました。

「いい授業」のために私はコレを活用

ハンディカメラ

少人数のグループワークで実施するスピーキングの練習でも、常に聴衆の目を意識して欲しいため授業ではハンディカメラで互いのスピーキングを録音しています。録音を見直し、お互い助言しあうことで人前で英語で話すスキルを磨いています。

学生VOICE!!

こげんい
 胡 元寧さん
 情報通信学部 情報メディア学科 2年次生

鍋井先生の英語の授業では「英語コミュニケーション能力」が重視されています。オンライン授業ではZoomのブレイクアウトルームを多用し、毎回少人数で英語で話す機会がありました。私たちが英語の単語で発音しにくいところがあれば、その都度アドバイスもくれました。昨年の授業は全てオンラインでしたが、当週の予習・授業内容・宿題や、Writingの課題へのフィードバックなどをMS Teamsを活用して提供してくれ、様々な工夫が感じられました。



鍋井先生の
 2022年度の
 授業

▶ 授業内容はTIPS(Tokai Information Portal Site)「シラバス参照」で確認!

春学期	科目名	必選	単位	開講校舎
	アカデミック英語	必	2	高輪
	グローバルビジネス英語(再履)	必	2	高輪

秋学期	科目名	必選	単位	開講校舎
	グローバルスキル	必	2	高輪
	グローバルビジネス英語	必	2	高輪



生物学部 海洋生物科学科

野坂 裕一 先生

Nosaka Yuichi

E-mail : y.nosaka@tsc.u-tokai.ac.jp



【学 位】博士(環境科学)
【専門分野】浮遊生物学
【主要授業担当科目】
浮遊生物学／生物海洋学／浮遊生物学
実験／亜寒帯海洋フィールド実習

実践を意識した授業づくり

座学では教科書の知識を伝えることは当然のことですが、それに加えて、調査航海や実験などで得た経験や裏話などを少し交えて授業を行うように心がけています。経験談や裏話を加えることで、教科書の知識をただ単に伝えるだけでなく、座学でいながらより実践に近い学びに繋がると考えています。特に、私が担当している授業の内容は調査船の観測から得られた知見を基盤としているため、その知見が得られるためにはどのような調査を行ったか、調査を行う時の注意点や大変さなどについても伝えるようにしています。また、



授業によっては、あえて答えを示さず、学生からアイデアを出してもらうこともあります。このようなアイデアの中には、私も想像しないような素晴らしいものも珍しくありません。学生から学ぶことも多いと感じる瞬間でもあります。

野坂先生の『授業をよくするための』のテクニク



理解が難しい内容については、一度**全体像**が分かるように説明し、その後、**段階的にかみ砕いた説明**を行うように心がけています。文字での理解が難しい場所は、**図を自作**するなどして補足説明を行っています。



目に見えない小さなプランクトンについて説明することが多いため、**顕微鏡で撮影した写真や動画**を授業で使用し、少しでも関心もてるようにしています。



声の通りや滑舌が良い方ではないため、説明した内容に対する**学生の反応**を確かめながら授業を行っています。また、教室内全体に声が届くよう、**マイクの音量**には注意しています。

「いい授業」のために私はコレを活用

実際に海洋調査に使用する観測機器

オンライン授業ではモニター越しの説明となってしまいましたが、**面接授業**では実際に海洋調査に使用している観測機器を教室に持ち込み、**模擬的な観測体験**などをしてもらっています。

学生VOICE!!

くどう さきこ
工藤 早紀子さん
生物学部 海洋生物科学科 4年次生

野坂先生の授業は単に知識や情報の提供だけではなく、調査航海や実験での経験談を交え、今学んでいることが日常生活にどう役立っているかを解説してくれます。植物プランクトンについて学ぶ際は実際に先生が採取したサンプルを見せていただき、それが身近な化粧品にも使用されていることを知りました。ネットで何でも調べることができる時代ですが、授業を通じて実験など自身の経験に基づいて思考することの重要性を学びました。



野坂先生の
2022年度の
授業

▶授業内容はTIPS(Tokai Information Portal Site)「**シラバス参照**」で確認!

	科目名	必選	単位	開講校舎
春学期	生物海洋学	選	2	札幌
	浮遊生物学実験	選	2	札幌
	海洋生物科学フィールド実習	必・選	2	札幌

	科目名	必選	単位	開講校舎
秋学期	浮遊生物学	選	2	札幌
	亜寒帯海洋フィールド実習	必・選	1	札幌



学生の選んだ「いい授業」 受賞者一覧 (2002~2021年度)

※退職者、名誉教授、掲載辞退者を除いています。 ※現在の所属名称で表示しています。

マークの見方

優秀賞 ('00:受賞年度 '00年:受賞年)

*…2007年度以前の「最優秀賞」を示す。(2007年度以前は選考方法が異なり最優秀賞と優秀賞があるため)

文学部	文学学科	井野上 真弓 先生	15
	アジア学科	葉 千栄 先生	02 03 07年 12
	ヨーロッパ・アメリカ学科	吉田 厚子 先生	02年 05 09 12
	北欧学科(団体受賞)		14
文化社会学部	文芸創作学科	堀 啓子 先生	07年
	広報メディア学科	笠原 一哉 先生	19年
	心理・社会学科	浅井 千秋 先生	07
		有沢 孝治 先生	06 08
教養学部	芸術学科音楽学課程	梶井 龍太郎 先生	03 04
	国際学科	荒木 圭子 先生	15
		小山 晶子 先生	16
		小貫 大輔 先生	07 10
		田辺 圭一 先生	18
体育学部	体育学科	内田 匡輔 先生	18
	武道学科	天野 聡 先生	12
	生涯スポーツ学科	野坂 俊弥 先生	17
健康学部	健康マネジメント学科	阿部 正昭 先生	13
		小林 理 先生	14
政治経済学部	経営学科	岩谷 昌樹 先生	06 09
観光学部	観光学科	立原 繁 先生	10
		本田 量久 先生	21
情報通信学部	情報メディア学科	濱本 和彦 先生	02
	経営システム工学科	大竹 恒平 先生	19
		西口 宏美 先生	07年
		森山 弘海 先生	03 04
理学部	数学科	小川 竜 先生	16
	情報数理学科	古谷 康雄 先生	06
		土屋 守正 先生	07
	物理学科	遠藤 雅守 先生	05
	化学科	関根 嘉香 先生	03 04 08
情報理工学部	情報科学科	内田 理 先生	05

情報理工学部	コンピュータ応用工学科	浅川 毅 先生	02 07
工学部	応用化学科	長瀬 裕 先生	05
	電気電子工学科	大山 龍一郎 先生	06
	動力機械工学科	加藤 英晃 先生	20
	航空宇宙学科航空宇宙学専攻	池田 知行 先生	19
	航空宇宙学科航空操縦学専攻	新井 直樹 先生	13
医学部	医学科外科学系	増田 良太 先生	21
	看護学科	石井 美里 先生	07
海洋学部	水産学科生物生産学専攻	鈴木 伸洋 先生	06
	海洋生物学科	村山 司 先生	04 07年
	海洋フロンティア教育センター	岡田 夕佳 先生	15
人文学部	人文学科	栗原 ゆか 先生	08
文理融合学部	経営学科	田中 靖久 先生	09 13
農学部	応用動物科学科	今井 早希 先生	19
		櫻村 敦 先生	17
	応用動植物学科	松田 靖 先生	06
国際文化学部	地域創造学科	植田 俊 先生	19
		広川 龍太郎 先生	07年
		山田 秀樹 先生	15
	国際コミュニケーション学科	ディーンエリック スティーブン 先生	18
		ハミルトン マーク C 先生	07
	デザイン文化学科	中尾 紀行 先生	07
		田川 正毅 先生	07年
藤森 修 先生		17	
生物学部	生物学科	笠原 宏一 先生	07
		和泉 光則 先生	14
	海洋生物科学科	大橋 正臣 先生	20
		野坂 裕一 先生	21
ティーチングオリフィ ケーションセンター	学校教育学系	朝倉 徹 先生	04* 05 11
	社会教育学系	稲垣 智則 先生	16
語学教育センター	英語教育部門	マイナー ダニエル W. 先生	15
		シュロズブリー マークリチャード 先生	11
		鍋井 理沙 先生	21
	国際言語教育部門	星野 芳恵 先生	18
		安 小鉄 先生	06
		キム ミンス 先生	17
		佐藤 浩一 先生	10
理系教育センター	中島 仁 先生	14	
	及川 義道 先生	02	
	永野 光浩 先生	14	
	堀澤 早霧 先生	20	

「いい授業」実現のために

東海大学が実施している 授業改善の取り組み



ユニバーシティビューローゼネラルマネージャー(教育支援担当)
理学部情報数理学科教授

土屋 守正



各種アンケートを実施

東海大学では、学習状況や教育環境の改善のため、以下のようなさまざまなアンケートを実施しています。今後も入学から卒業まで、学生一人ひとりの声に耳を傾け、学びの場の充実に努めていきます。

- ① **授業についてのアンケート** Teaching Award賞“学生の選んだ「いい授業」”で高評価の授業を紹介している
- ② **キャンパスライフアンケート** 学生からの声を集め、更なるキャンパスライフ改善に役立てている
- ③ **卒業にあたってのアンケート** 卒業時に大学全般のことについて広く意見を集め、今後の教育環境改善に役立てている
- ④ **「4つの力」のアセスメント** 学生一人ひとりのディプロマ・ポリシー(社会的実践力「4つの力」)を把握する



2022年度「授業公開」及び Teaching Award受賞者の「授業参観」の実施

東海大学では、教員相互の授業参観を通じて、優れた授業の展開や組織としての教育力の向上につなげようとの観点から、「授業公開」をFD活動の重要な手段のひとつとし、すべての授業を対象として授業参観を展開しています(ただし、医学部医学科開講科目は学科内でのみ実施)。

今年度は、学生の「授業についてのアンケート」の結果から「いい授業」として選ばれた2021年度Teaching Award受賞者の先生方の中らご協力をいただき、以下の日程で「授業参観」を実施します。

■Teaching Award受賞者による「授業参観」

教員名(所属)	授業科目名(教室)	日程(2022年)	時限	校舎
本田 量久(観光学部 観光学科)	シティプロモーション論(4号館5階4504教室)	6月24日(金)	4	渋谷
野坂 裕一(生物学部 海洋生物学科)	生物海洋学(3階N311教室)	7月5日(火)	2	札幌

- ・授業内容は教職員ポータルまたはTIPS(Tokai Information Portal Site)から「シラバス参照」で確認できます。
- ・教職員が授業を見学する場合は「授業スケジュール参照」で教室等を確認し、授業開始前に担当教員に申し出て見学してください。
- ・所属等は2022年4月現在です。



東海大学FD推進情報サイト <http://www.esc.u-tokai.ac.jp/>

発行:東海大学 編集:東海大学 ビーワンオフィス企画(FD)担当
TEL:0463-63-4610 E-mail: beone-fd@tsc.u-tokai.ac.jp

東海大学FD推進情報サイト 検索

